

「聴覚障がいのある子への医療・教育・福祉に関する意見交換会」の実施について（案）

令和元年10月時点

目的

聴覚障がい児に対しては、早期に適切な支援が行われる必要があるとともに、手話普及を図る上では、こどもが豊かに暮らしていけるための選択肢の一つとして、医療において「手話言語」の情報が提供されることが重要である。

このことから、聴覚障がい当事者や聴覚障がい児の保護者から、手話の重要性や普及の必要性、子育て体験について、医療関係者からは、聴覚障がい児の医療に関する話題について、それぞれ情報を提供いただくことで、聴覚障がいや手話言語に対して共通して理解し合える環境を構築するとともに、聴覚障がい児への手話の必要性に対する認識を共有するための意見交換会を実施する。

実施方法

- 1 開催日時：12月1日（日）13時から15時まで
 - 2 開催場所：旭川市障害者福祉センターおびった 2階 会議室1-A
 - 3 参集範囲：聴覚障がい当事者，聴覚障がい児保護者，意思疎通支援者，教育関係者，医療関係者、福祉関係者 計50名程度
 - 4 実施内容（案）
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 聴覚障がいのある子への医療や教育，手話に関する講演（20分×3名）
 - ・「手話言語の重要性について」
講演者：一般社団法人 旭川ろうあ協会 理事長 山根 昭治 氏
 - ・「聴覚に障がいのある子の子育てについて」
講演者：北海道旭川聾学校PTA会長 森 愛美 氏
 - ・「新生児聴覚検査について」
講演者：大橋耳鼻咽喉科医院 院長 大橋 伸也 氏
 - (3) 聴覚障がいのある子への医療や教育，手話に関する意見交換会（50分）
テーマ 新生児聴覚検査後の保護者への支援，聴覚障がい児の療育と手話について
- 【参加者】
- ・当事者（山根理事長）
 - ・保護者（森PTA会長）
 - ・医療従事者（大橋院長）
 - ・教育関係者（旭川聾学校校長）
 - ・コーディネーター：旭川市手話施策推進会議 栗田会長
(旭川大学保健福祉学部准教授)
- (4) 閉会